

Study01 の工夫した点

1270360:稗田隼也

5月1日

1. で工夫した点

変数 j, k が増えていく値をしっかりと考えてコードをかけた。

2. で工夫した点

はじめに入力されていく文字列を配列に入れてそこから一文字ごとに分割した二次元配列にしようと考えたがメモリの無駄なのと二次元配列の大きさがバラバラになって気持ち悪かったりそもそもそういった宣言を知らなかったので一文字列ごとにループで処理することにしたこと。配列外アクセスについてしっかりと検討した。

3. で工夫した点

素因数分解をしていくときある数で割り切れる値を見つければ、元の数をもそのある数で割った商に更新していけばいいと考えた。また 4, 6, 8 などのような数がある数としたとき 4, 6, 8 などは更に割れてしまうので素因数分解のアルゴリズムでは致命的になる。そこで 2 から小さい数から割り切れるかを考えていくことである素数 k が $k \leq k * m$ (m は 1 以上の整数) を満たすことで 1 から小さい数から考えていくことで問題が解決するように工夫した。

4. で工夫した点

月ごとの日数を配列としてまとめて差を簡単に求められる点。

5. で工夫した点

1 から 1000 の少ない範囲なのでそれぞれの範囲内の数を素数が判定させるメソッド (与えられた数未満で 1 以外の数字で割り切れるかどうか) を定義することで説いた。